

政策連合 取組状況報告

幹事県名 大分県

(政策連合名) 口蹄疫対策

(迅速・的確な家畜防疫及び肉豚流通体制の整備)

1. 取組目的

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等、伝播力の著しく強い家畜伝染病の発生に対し、県境を越えた迅速・的確な防疫対策の確立を図る。

2. これまでの取組と成果

(1) 平成22年12月22～23日に行われた九州ブロック家畜衛生主任者会議において、①情報の綿密な共有化、②消毒ポイントの機能的な設置・運営、③発生を想定した家畜防疫員、防疫作業員の協力体制の確立、④畜産物流通体制の整備について、具体的なルールを策定した。

(2) 今冬、宮崎県、鹿児島県、大分県で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された事例では、(1)のルールに従い、確定診断前の連絡や効率的な消毒ポイントの設置などを適切に行い、迅速・的確な防疫対策を実施することができた。

3. 課題

より効果的な防疫対策が行われるよう、ルールの運用に検討が必要

4. 今後の取組内容

2のルールを周知し、迅速・的確な防疫対策の再徹底を図る。

5. 今後のスケジュール

7月 九州ブロック家畜衛生主任者会議において協議